

**一般財団法人 NSK 奨学財団**  
**ダブル・ディグリー・プログラム派遣留学奨学金 募集要項 (2022 年度)**

1. 主旨

様々な分野において国際舞台で活躍し、世界に貢献するという強い意思を持った次世代リーダーとなる若者を支援するため、ダブル・ディグリー・プログラム（以下、DDP）で留学をする特に優秀な者に対して下記により奨学援助を行います。

※DDP：複数の提携する大学間で開設された同じ学位レベルの共同プログラムを修了した際に、各大学がそれぞれの学位を付与する制度。

2. 支援内容

奨学金として、以下を給付します。

- ・生活滞在費として月額 15 万円
- ・留学先学校納付金の内、授業料等を年額 500 万円以内  
(DDP での留学で留学先学校の授業料等が免除される場合、留学元学校への納付金が支援対象となります。)
- ・DDP 留学プログラムであらかじめ規定された回数の渡航費

3. 給付期間

DDP 留学プログラムであらかじめ既定された、留学先校に修学するため海外に滞在している期間。

4. 支援予定人数

1 名

※全国他大学も含めた本奨学金全体の募集人員は新規 4 名程度(内少なくとも 2 名は女性を採用)

5. 応募資格

次に掲げる要件をすべて満たす者。

- ・2022 年 4 月から 2023 年 3 月の間に留学を開始する者
- ・学業人物優秀、心身健康、真に経済的援助の必要な者
- ・応募時に本学に在籍する者
- ・応募時に日本国籍を有する者
- ・応募時に 35 歳未満の者
- ・DDP 留学により修士以上の学位取得を目的とする者
- ・他の奨学金を併用して受給しない者

6. 申請及び選考

受給希望者がいる場合は、2021 年 11 月 19 日(金)までに推薦文書(様式任意)を作成のうえ、学内情報伝達のルールに順じて通知メールのタイトルを変えずに先頭に貴部局名を入れて返信してください。

※回答例 :Re:【工学部】(回答)【教留海】(通知:12/3(金)まで)一般財団法人 NSK 奨学財団ダブル・ディグリー・プログラム派遣留学奨学金(2021 年度)の募集について

グローバルラーニングセンター内で選考のうえ、2022 年 1 月上旬(予定)NSK 財団に推薦します。その後、NSK 財団による面接選考のうえ合格者について採用内定者となります。

7. その他

- ・学内選考で合格となった場合においても、NSK 奨学財団が東北大学を本奨学金の推薦依頼大学に指定しなかった場合、NSK 奨学財団へ学生を推薦することは出来ません。※応募のスケジュール上、本学が NSK 奨学財団へ

推薦依頼大学の指定を希望した段階で学内募集を開始しております。

- ・奨学生は、その DDP による修学期間の間、NSK 奨学財団に学業成績および生活状況の報告することとなります。
- ・当該財団の主催する行事への参加など財団からの各種要請について、勉学に支障の無い限り、参加協力することとなります。
- ・本奨学金に応募する場合、本奨学金の支援対象となる留学期間については、他の支給型民間等奨学金への応募（＝併願）はできません。
- ・本奨学金申請時（又は申請後）に他の支給型民間等奨学金による支援が決定している（又は決定した）者は、選考の対象外となります。なお、「東北大学基金グローバル萩海外留学奨励賞（以下、「グローバル萩」と言う。）」及び「日本学生支援機構海外留学支援制度（協定派遣）（以下、「JASSO 奨学金」と言う。）」については、併願は出来ませんが、本奨学金と重複受給（＝併給）することはできません（本奨学金の受給が決定した時点で、グローバル萩及び JASSO 奨学金の受給資格は失われます）。

## NSK奨学財団(NSK Scholarship Foundation)概要

2021年9月8日

日本精工株式会社(NSK Ltd.)は、2016年11月に100周年を迎えました。100周年を迎えるにあたり、企業理念の精神や、NSKビジョン2026に掲げる、「あたらしい動きをつくり出し、お客様や社会により一層高い価値を提供し続けたい」という想いを基に、企業としての社会との関わり方をあらためて考えました。これまでも同様にMOTION & CONTROLという領域での本業を通じた貢献に加え、世界の様々な課題を念頭に、それらの解決に資する高度な人材の育成を支援することを目的とし、NSK奨学財団の設立を決めました。

当財団では、2つのプログラムを立ち上げました。

1つは、日本のリーダーシップが今後ますます求められる状況の中、様々な分野において国際舞台で活躍し、世界に貢献するという強い意志を持った次世代リーダーが日本人から多く輩出されることを期待し、海外の一流の研究機関や大学院への留学を目指す有為の若者を支援するプログラムです。

また、アジアの一員である日本を本拠とする「ものづくり企業」として、アジア地域における次世代の人材育成支援にも力を入れていきたいと考えています。そこで、日本の大学院で科学技術を学び、科学技術分野における進歩に貢献するアジア各国の優秀な学生に対し、日本への留学を支援するプログラムも設けました。

どちらのプログラムにおいても、奨学生が学業に専念できるような環境を整えるべく、他の奨学金制度より手厚くサポートをすることを特色として運営しております。

- 設立 2017年4月11日
- 出捐企業 日本精工株式会社
- 事業
  - ① 日本人に対する海外留学支援奨学金事業
  - ② 外国人に対する日本への留学支援奨学金事業

## &lt;事業概要&gt;

	① 日本人に対する海外留学支援	② 外国人に対する日本への留学支援
目的	・日本の将来を国際舞台で担う次世代リーダーの育成 ・大学の国際化支援	・東南アジア各国の科学技術分野進歩に貢献する優秀な学生への研究支援 ・大学の国際化支援
対象分野	・社会科学系（国際政治・国際経済等） ・理工学系（機械工学・情報科学・環境工学等）	・理工学系分野
種類	給付型奨学金	給付型奨学金
募集方法	推薦依頼大学を通じた大学推薦	推薦依頼大学を通じた大学推薦
応募資格	(1) 学業人物優秀、心身健康、真に経済的援助の必要な者 (2) 応募時、推薦依頼大学に在籍する者 (3) 応募時、日本国籍を有する者 (4) 応募時、35歳未満 (5) 上記対象分野の修士以上の学位取得を目的とする者 (6) DDP等(*1)留学、又は海外指定大学(*2)留学を予定する者 (7) 他の奨学金給付を併用して受けない者	(1) 学業人物優秀、心身健康、真に経済的援助の必要な者 (2) 応募時、対象国(アセアン加盟10ヶ国)の国籍を有する者 (3) 応募時、35歳未満 (4) 対象国の学位を有する者 (5) 理工学系分野の修士以上の学位取得を目的とする者 (6) DDP等(*1)にて推薦依頼大学への留学を予定する者 (7) 他の奨学金給付を併用して受けない者
支援内容	生活費：15万円/月 授業料：留学先授業料、入学金 年額500万円以内 DDP等で留学先授業料免除の場合、留学元授業料を年額500万円以内支給 その他：渡航費	生活費：15万円/月 授業料：留学先授業料、入学金 年額300万円以内 DDP等で留学先授業料免除の場合、留学元授業料を年額300万円以内支給 その他：渡航費
支給期間	修士課程：2年間、博士課程：3年間 DDP留学の場合、その規定期間	修士課程：2年間、博士課程：3年間 DDP留学の場合、その規定期間
募集人員	新規4名程度、内少なくとも2名は女性を採用	新規4名程度
選考・採用	推薦依頼大学に候補者の募集と推薦を依頼。(人数指定あり) 大学推薦の後、当財団の確認面接を行って内定。 合格証明又は入学許可証等を確認後正式採用。	推薦依頼大学に候補者の募集と推薦を依頼。(人数指定あり) 大学推薦の後、当財団の確認面接を行って内定。
奨学金給付他	生活費支給は年4回、日本円振込 奨学生には学業成績、生活状況の報告義務あり	生活費支給は年4回、日本円振込 奨学生には学業成績、生活状況の報告義務あり
事業資金	日本精工株式会社からの寄付	日本精工株式会社からの寄付

(\*1) ダブルディグリープログラム等(DDP等)

複数の提携する大学間で開設された同じ学位レベルの共同プログラムを修了した際に、各大学がそれぞれの学位を付与する制度(ダブルディグリープログラム)及び当財団が指定するプログラム。

(\*2) 海外指定大学：(2022年度)以下の大学 および 推薦依頼大学と当財団との間で別途合意した大学

オックスフォード大学/英国、カリフォルニア工科大学/米、ハーバード大学/米、スタンフォード大学/米、ケンブリッジ大学/英国、マサチューセッツ工科大学(MIT)/米国、プリンストン大学/米国、カリフォルニア大学バークレー校/米国、イェール大学/米国、シカゴ大学/米国、コロンビア大学/米国、インペリアル・カレッジ・ロンドン/英国、ジョンズ・ホプキンス大学/米国、ペンシルベニア大学/米国、スイス連邦工科大学チューリッヒ校/スイス、北京大学/中国、精華大学/中国、トロント大学/カナダ、ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン(UCL)/英国、カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)/米国、シンガポール国立大学(NUS)/シンガポール、コーネル大学/米国、デューク大学/米国、ミシガン大学アナーバー校/米国、ノースウェスタン大学/米国、ニューヨーク大学(NYU)/米国、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE)/英国、カーネギーメロン大学/米国、ワシントン大学/米国、エディンバラ大学/英国、香港大学/香港